

教員会議(1713回)・研究科委員会(505回)議事要録

日 時：平成30年1月24日(水) 13時30分～14時40分
15時05分～17時15分

場 所：人間発達文化学類大会議室

【確認事項】

教員会議(第1711回)・研究科委員会(第503回)の議事要録(案)について確認され、教員会議(第1711回)・研究科委員会(第503回)の議事要録(案)については、議長から『【審議事項】(1)新学類発足時の教員配置について』中、「資料表面に従い裏面の配置は氏名が明記されているが、ポストと理解願いたい」との記載について、再度確認願いたいとの発言があり確認された。

教員会議

【審議事項】

1. 人事について

(1) 副学長候補適任者の選挙結果について

学類長から、有権者数66名、投票者数34名、投票総数102票、有効票92票、無効票0票、白票7票、中田(ス)(21票)、三浦(17票)、千葉(養)(17票)、次点谷(10票)により得票数上位3名の意向を確認しており、この3名を副学長候補適任者として推薦したいとの説明提案があり、承認された。

(2) 教員の任用について(資)(発議) 投票

白石主査から、審査対象者のA氏及びC氏について、研究業績及び教育能力の両面についての審査内容の報告があり、審査結果を総合的に判断して、C氏を適格者とする結論に至った旨の説明提案があり、承認された。次いで、資料に基づきC氏(保木井啓史氏)の経歴・研究業績の報告があり、投票に移ることの提案があり、承認された。投票の結果、賛成42票、反対0票、無効4票、白票0票で准教授として採用することが、承認された。

2. 人事委員会：各種委員会について

学類長から、各種委員会の配置については教員の減少により来年度見直しをすると説明していたが、人事委員会で検討・確認した事項について説明提案したいとの発言の後、教育課程委員会については廃止し、教務関係の所掌事項については教務委員会に引き継ぐ。改組に伴う審議事項については、必要に応じてカリキュラム特別委員会(仮称)を設ける。財務施設委員会を研究教育支援委員会と改称し、図書・編集委員会の所掌事項についても担当することとする。図書・編集委員会は廃止する。また、全学委員会である研究倫理委員会、遺伝子組み換え実験安全委員会、学術振興基金運営委員会については、研究教育支援委員会から委員を出すとの説明提案があり、承認された。

【報告事項】

1 - 1. 教育研究評議会：第294回(12/19)

(報告事項)

(1) 平成30年度科研費申請状況について(資-掲)

(2) 福島大学と国立那須甲子青少年自然の家との連携協力に関する協定の締結について(資-掲)

(3) 福島大学と西白河4町村(西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町)との相互協力協定の締結について(資-掲)

(4) 平成 29 年度会計検査院実地検査の報告について

1 - 2 . 教育研究評議会 : 第 295 回(1/16)

(審議事項)

(1) 既存組織の見直し等について (戻り報告 - 意見聴取)

(報告事項)

(1) 食農学類 (仮称) 新規採用候補者の選考結果について (資 - 閲)

(2) 教員の特例雇用について

(3) 役員給与規則及び役員退職手当規則の一部改正について (資 - 掲)

(4) 就業規則の一部改正について (資 - 掲)

(5) 「福島大学男女共同参画宣言」改正について (資 - 掲)

(6) 「福島大学理工学群共生システム理工学類の研究活動における秘密情報の管理に関する規程」の制定について (資 - 掲)

(7) 平成 29 年度業務達成基準適用事業について (資 - 掲)

(8) 平成 30 年度予算 (案) の伝達等について (資 - 掲)

2 - 1 . 運営会議 : 第 101 回(12/26)

(1) 施設整備の方向性について (資 - 掲)

(2) 平成 29 年度入試関係アンケート集計結果について (資 - 掲)

(3) 平成 29 年度高校訪問結果について (資 - 掲)

2 - 2 . 運営会議 : 第 102 回(1/9)

(1) 平成 30 年度予算 (案) の伝達について (資 - 掲)

(2) 施設整備の方向性について (資 - 掲)

(3) 平成 29 年度ふくしま高校生社会貢献活動コンテストについて (資 - 掲)

(4) 平成 28 年度会計検査院の決算検査報告説明会について (資 - 掲)

3 . 教務委 : 平成 29 年度入学生の教員免許状及び保育士資格取得希望者数について (資)

安田委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、クラス毎に資料を作成出来ないか、複数免許の志望が分からないか、就職委員会へも依頼したいとの要望があり、教務委員から、複数免許については分かるのではないかと、クラス毎の作成については、今後検討したいとの回答があった。次いで入試区分の関係と就職をリンクしたデータ作成については過去に取り組むこととなっていたので、関連したところで共同で取り組んで欲しいとの要望があり、学類長から過去の経緯について確認するとの発言があり、了承された。

4 . 学生生活委 : 平成 29 年度 1 ・ 3 年次学生研修総括について (資)

高木委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

5 . 国際交流センター運営会議 : 平成 30 年度前期大学間交流協定に基づく外国人留学生 (特別聴講学生) の受入れについて (資)

高橋 (優) 委員から、標記について資料に基づき説明報告があり、了承された。

6 . 将来計画検討委 : 学類改革について (資)

井實委員長から、標記について「3 ポリシー案等についてコース別検討まとめ」と「入試選抜方法についての試算」に分けて資料に基づき説明報告があり、「3 ポリシーまとめ」については学力の三要素を反映すべき、カリキュラムの検討時期、せまい範囲の選択必修を増やして欲しい等意見・要望があり、委員長から大枠を検討しているとの回答があった。次いで委員長から、「入試算」については、スケジュール的に優先し検討する、検討依頼事項を 2 月 5 日 (月) までに回答願いたい、2 月 14 日 (水) の教員会議で案を提案したいとの発言があり、コース別の人数を検討しないで提案するのは方法論としてどうか、入試の人数には違和感があり混乱がある、共通テストの配点及び外部試験の併用を考える必要があるのか、種類及び募集条件/選抜

方法を変更してもよいか、地域枠への意見など、質問及び意見・要望等があり、委員長から中・長期的に分けて検討している、新組織発足時の教員配置に基づき計算した結果、適正な人数となっているとの説明があり、議長から質問については、将来計画検討委員会に個別にお願いしたいとの発言があり了承された。

7. 学類長：

(1) 附属小学校長・中学校長の選考について

学類長から、内規に基づき選考を開始し、2月14日の教員会議で候補者を提案するとの説明報告があり、了承された。

(2) 教員の外国出張について

学類長から、以下について学類人事委員会で承認したとの報告があり、了承された。

外国出張 坂本篤史 30.1.4 ~ 30.1.8 台湾 学長裁量経費

研究科委員会

【報告事項】

1. 研究科長：学類所属生特別入試について

学類長から、学類所属生特別入試の合格者が合格手続きを行っていないことについて、松下教職実践専攻長より説明願う旨の発言があり、松下専攻長から入学の確約条項があり合格辞退できないが、合格者1名が福島県の教員採用試験に合格し福島県の教員になることが決定したことについて詳細な経緯の説明があり、再発防止に努めたいとの発言があった。入試との関連について意見がだされ、学類長から推薦の段階で改めて特別入試の制度について理解が必要なので何重にも確認願いたい、該当する学生と連絡を密にして二度とないように願いたいとの発言があり、了承された。

(アナウンス)

教員免許状取得のための単位確認表の提出について(教務委)

標記について、資料に基づき説明があり、内容を確認したうえで署名捺印するよう依頼のアナウンスがあった。

「2017年度教養演習 担当者報告会・交流会」及び「教養演習 実施概要調べ」について

(教育課程委)

標記について、協力依頼のアナウンスがあった。

「大学院生の研究発表状況等に関する調査」及び「大学院生の学業成果及び修了研究に関する調査」について(教育課程委)

標記について、協力依頼のアナウンスがあった。

身体等に障害のある学生のための積雪時における除雪作業の協力依頼について(教務委)

標記について、協力依頼のアナウンスがあり、別途支援室から依頼のメールを配信するとのアナウンスがあった。

今回の教員会議は、平成30年2月1日(木)12:10から開催することとした。